

AQL東海 サマーリーグ

日時：2018年8月13日（月）

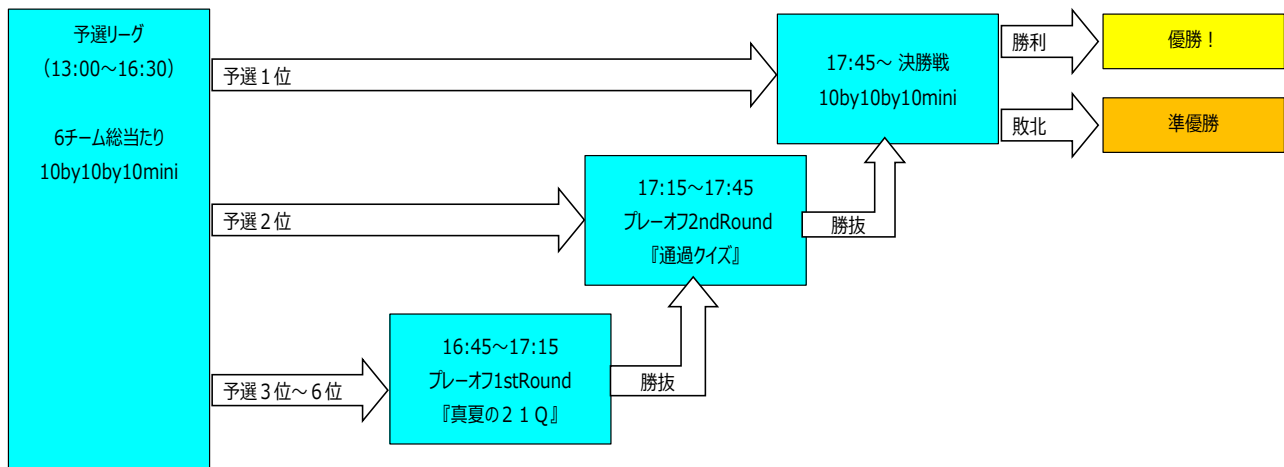
場所：岐阜市・ハートフルスクエアG

主催：AQL実行委員会（東海地区メインスタッフ） & 参加していただく皆さま



[速報サイト](#)

■大会の流れ（ジュニアの部。大学生以上はオープン参加）



■予選リーグ

- ・ 総当たりの「10by10by10mini」を実施。各セットでは3チームずつがグループとなり、それぞれ3試合を実施する。3試合のうち2試合で自ら対戦に入り、1試合では問い読み等運営に回る。勝利で勝ち点2、敗退で勝ち点0、引き分けで勝ち点1を得る。これを4セット行い、自チームが戦った全8試合の勝ち点を合計し、順位に応じてプレーオフに進出する。
- ・ 同勝ち点の場合は得失点差（全試合の得点から全試合の失点を引いた数値）の大きいチームを上位とする。それでも並んだ場合はサドンデスクイズにより順位を決定する（プレーオフ開始前に実施）。
- ・ AQLにて準備した40問の問題を4回読む。各セット、問題と時間が余ったら成績関係なしの自由出題（いわゆるフリーバッティング、フリバ）を実施する。

■予選リーグで行う【10by10by10mini】のルール

- ・ 2チーム対抗の早押しクイズ。各チーム1番～5番までを決定し席に着く。番手は固定され、試合終了まで変更できない。一つの番号に2人まで配置することが可能。※主催者権限で、3人の配置を認める場合あり。
- ・ 全員一斉早押し。全員1ポイント持った状態でスタートする。正解すると、答えた人の番号で1ポイント増える。基本的には1番～5番の五つのポイントを掛け算した得点で争い、200点到達を目指す。
- ・ 早押し機のボタン不足時は部屋担当の指示に従い同じ番号の人でボタンを共有するが、基本ボタンを押した人が解答する。
- ・ その番号における1回目の誤答は、その番号の人のポイントが1に戻る。2回目以降の誤答は、その番号の人のポイントが1に戻り、さらに対戦相手チームの誰かが誤答するまでその番号は解答権を失う。
- ・ 誤答で失った解答権は、相手チームの誰かが誤答すれば復活。自チームで複数ボタンの解答権が失われている場合でも、相手チーム1回の誤答ですべて復活する。なお、チームの5人全員が解答権を失うと敗退。
- ・ 五つの番号のポイントを掛け算した得点が200点に到達した時点で勝利決定。問題は40問限定。終了時は得点が多い方の勝利とし、同点の場合は引き分けとなる。

■ 得失点差の計算方法

試合終了時の得点「自分チーム得点－相手チーム得点」にて計算する。ただし、勝利チームの得点は以下のように計算する。

- ・ 200点を超えて勝利した場合、勝利チームの得点は200点として計算する。
- ・ 敗退チームが全員解答権を失って失格した場合、勝利チーム得点は200点として計算する。敗退チームは1点となるので、自動的に得失点差は±199点となる（理論上の最高値）。
- ・ 40問で決着していない場合、勝利、敗退チーム共に、そのままの得点を用いる。引き分けもありうる。

■ 大学生以上のチーム（以下『一般チーム』）がジュニアチームと戦う際のハンデキャップ

一般チームは、1番～5番の各座席のポイントを最大「4」までしか伸ばすことができない。

「4」に到達後も、早押しクイズに参加できる（相手チームのポイントを抑制できる）が、誤答すると「1」に戻るので要注意。

■ プレーオフのルール【ジュニアチームのみ参加】

★1st Round『真夏の21Q』予選リーグ3位～6位のチームが参加

Step1：ビジュアルタイムショック2.1

スクリーンに矢継ぎ早に出題される問題について口頭で回答する。チームで相談を認める。誰が答えても構わないが言い直しは認めない。

出題される問題数は「21問」、1問あたりの制限時間は5秒。1問正解につき1ポイントが与えられる。

出題後5秒経過すると次の問題に遷移する。画面遷移直後の回答は認める。

予選リーグ6位のチームが最初にチャレンジし、以降5位、4位、3位…の順にチャレンジする。

Step1のポイントをStep2に引き継ぐ。

Step2：勝負の2.1Q

各チームに早押しボタンを「4つ」渡して早押しクイズ。相談は認めず、押したメンバーが答えること。

出題される問題数は「21問」、正解・誤答は±2ポイント。

Step1,Step2の合計得点の多いチーム「2チーム」がプレーオフ2ndRoundに進出する。

同点の場合は予選リーグ上位のチームを上位と判定する。

★2nd Round『通過クイズ』予選リーグ2位+プレーオフ1st Roundの勝利チームが参加

平場のクイズと通過席のクイズを組み合わせた、準決勝相当のラウンド。

各チームに早押しボタンを「4つ」渡して早押しクイズ。相談は認めず、押したメンバーが答えること。

【平場】

早押しクイズに正解するとそのチームに+1ポイント。誤答は-1ポイント。0ポイントの時の誤答はポイントはゼロのままで、チーム全体が2回休みとなる。

+3ポイント到達で通過クイズ（早押し）にチャレンジ。

【通過席】

通過席には、★ゼロの場合「2名」、★1の場合「1名」立つことができる。通過席で正解するとそのチームに★1つ。★を最初に2つ揃えたチームが決勝進出。

通過席で正解して★をゲットした場合、0ポイントの状態ですべてのクイズに戻る。通過席側が誤答した場合、そのチームが0ポイントの状態ですべてのクイズに戻る。

阻止側の正解で、通過席側のチームは0ポイントの状態ですべてのクイズに戻る。阻止側には+1ポイント。

阻止側の誤答は平場と同じルール。阻止側の2チームが回答権を喪失した場合も問題は出題される。

※★を1つゲットしたプレイヤーは、このラウンドで通過席に立つことができない。

※平場⇒通過、通過⇒平場と画面が切り替わる際には、休み状態は解除される。

■ 決勝戦 10by10by10mini 予選リーグ1位 vs プレーオフ2nd Round勝利チーム

決勝戦は、「10by10by10mini」と同様のルール。

40問終了時点で両チームの得点が同点であった場合、次が41問目であることをコールしたうえで、継続して問題を出題し、1点以上の得点差が付くまで出題を続け、勝利チームを決定する。

■その他注意点

- ① ~~一般の部出場チームは、ジュニアの部の試合を絶対観戦しないようお願いいたします（同じ問題を使用します）。~~
- ② 部屋移動は、指示があってからお願いします。他の部屋に誤って入らないようにお願いします。
- ③ 共用スペースで大きな声を出して騒がないようにお願いします。
- ④ ~~問題作成を行う団体同士で、問題のすり合わせは一切しておりません。偶然同じ問題が出題されても、気にせず押すようにしてください。~~
- ⑤ 今大会は複数の部屋を行き来します。荷物・特に貴重品は、必ず自分で管理してください。
- ⑥ 食事は**大研修室**で（※12:30～13:30まで）。飲み物はどの部屋でも可。部屋を汚さず、ごみを必ず持ち帰るようお願いします。
- ⑦ 出題者が「問題」と言ったら、問題を読み始める合図です。お静かにお願いいたします。
- ⑧ 観戦中「答えを口に出して言う」「早押しボタンを押すフリをする」行為は、クイズの進行の妨げとなりますのでご遠慮ください（観戦時の早押しボタンを押すフリは「空押し」と呼ばれ、大半のクイズイベントでは厳禁となっております）。

■正誤判定基準

- ・シンキングタイムは、「ボタンが付いてから」5秒間（注：正確に5秒を判定するのは難しく、判定者により1カウントが1秒より長いもしくは短い場合があるが、あくまで「正誤判定の指によるカウント」を基準とする）。
- ・問題を読み終えてから3秒経過でスルー（無効）扱い。3秒後ブザーを押すが、ブザーによって押したボタンのランプが消された場合、解答権は無効とする。
- ・**解答が正解に限りなく近いがそのままでは正解にならない場合**（近い遠いは正誤判定者の判断）、正誤判定者は「もう1回」と言って、解答者の再解答を促す（この場合、解答者は最初に言った答えをそのまま言わず、別の答えを答える）。この際の解答が、用意している正解と違う場合は不正解とする。
- ・**答えが聞き取れなかった場合**は、正誤判定が「聞こえません。」とコール。解答者ははっきりと大きな声で、「最初に言った答えと同じ答え」を答えるものとする。
- ・東洋人名（日本・韓国・中国・台湾など漢字文化圏の国）は、フルネームでの解答に限り正解とする。
- ・西洋人名は、基本的にファミリーネームのみでOK。ただし、明らかにフルネームを要求される問いは例外とする。
- ・複数のものから一つだけを答える問題の場合、問題文のままの順序で全てを答えた場合は正解とするが、それ以外の場合不正解扱いとする（例・「天文単位とは、太陽とどここの間の距離でしょう？」Ans.地球→この問題の場合、「地球」「太陽と地球」は正解、「太陽」「地球と太陽」は不正解とする。当然「～、どこどここの間の距離でしょう？」だった場合は「太陽と地球」「地球と太陽」が正解、「地球」「太陽」は不正解とする）。
- ・都道府県名と都市名の両方を答えた場合、都市名の方を答えたものとみなす（通常は、より範囲の狭いほうを答える意思だと解釈するのが妥当と考えるため）。都道府県名を答えさせる問題の場合は、不正解として扱う（「山口県」が答えのときに、「山口県下関市」と解答したら、不正解）。国名と都市名の扱いもこれに準じる。

■チャレンジルール

- ・「自分のチームの誤答判定」「自分のチームの誤答判定の原因となった問い読みの読み間違い」「他のチームの正誤判定」に対して、異議がある場合、チャレンジを行うことができる。チャレンジは問題直後から、次の問題を読み始める前まで有効。
- ・チャレンジの権利は1試合につきチームで1回まで（ただし回数を消費しない場合を後述）。
- ・チャレンジが行われた場合、正誤判定者の判断で必要があれば調査等を行う。結果、「判定変更せず」「判定変更」「問題無効」のいずれかの判断が下される。
- ・「判定変更」「問題無効」のいずれかの場合、チャレンジ権は消費されない。また、「判定変更せず」でも妥当なチャレンジと企画側が判断した場合、チャレンジ権が消費されない場合がある。
- ・なお、ホワイトボードの得点表示ミスなど、事務的なミスの指摘は随時OK（チャレンジ権とは別）。ただし、不要な指摘を繰り返すのはマナー違反になるので注意すること。

【告知スペース】東海地区で開催予定のオープン大会



問答セレクション2018

2018年10月27日(土)

岐阜市文化センター 展示室

好評を博した2015年大会から3年。満を持して伊藤トシノさんが送る珠玉の問題をお楽しみください。

大会



第6回「クイズ、愛、知、県」杯

2019年3月2日(土) 会場未定 (名古屋市近辺)

★東海地区の誇る難問クイズ王・石川貞雄さんが最高峰の問題群でお送りする、難問・長文での実力日本一決定戦。

大会



青鯨杯2018

2018年9月16日(日)

東桜会館 (名古屋市東区)

★過去7回開催の歴史を誇る、アニメ・ゲーム限定のクイズ大会。まさに名古屋！という感じの大会名も良いですね！

シ限

準備中

mono-series'18 名古屋

2018年10月14日(日)【仮日程】

名古屋近辺を予定

★「クイズNo.1物知り決定戦」と銘打たれた、独特の問題群を楽しめる大会。

シ限



第2回クイズセントラルフェスタ (QCF)

2019年1月12日(土) 13日(日)

東桜会館 (名古屋市東区)

初日は小林究さんの個人企画。2日目は東海地区在住のプレイヤーが中心となってお送りする持ち寄り企画です。

例会

宣伝募集中！